

経 済 部 観 光 課

1 観光振興対策

(1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光と特産品の振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

ア 観光客誘致宣伝事業

(ア) 米子市皆生温泉観光宣伝隊の派遣

期日 10月8日～10日

派遣先及び内容 北陸3県の信用金庫7庫を訪問し、皆生温泉と周辺の観光地のPRを行い、各金庫の親睦旅行や年金友の会の旅行先として、皆生温泉を取り上げてもらうよう努めた。

(イ) 米フェスタ・JAふれあいまつりととの連携により合同で「農と食のフェスタinせいぶ」を開催。

第3回ネギ来まつり&米子駅まつりの開催

期日 10月25日・26日 来場者 約32,000人

(ウ) 関西地区特別宣伝事業

日本中央競馬会阪神競馬場内において、米子ステークス開催にあわせて中海ふるさと物産振興会と共同で観光宣伝と物産コーナーを開設。

期日 6月21日・22日

イ 情報発信事業

(ア) 報道機関等を利用した観光宣伝

- a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベント、特産品等の紹介を行った。
- b 雑誌・新聞の取材に対応した。

(イ) ホームページによる情報発信

観光協会のホームページ「米子観光ナビ」の観光動画や公式Facebookページにおいて、「米子市観光インフォメーション」、「米子下町観光ガイド」、「美水の郷」等で米子市のPRを行った。

ウ 各種イベントの開催

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施又は開催協力を行った。

(ア) 米子桜まつりを開催

期間 4月4日～13日

加茂川・中海「さくら船」の運航

(イ) 米子つつじまつり

期日 4月26日

(ウ) 再生神話の郷マラニックの実施

期日 6月1日

(エ) 皆生温泉海水浴場を開設

期間 7月12日～8月24日

(オ) 全日本トライアスロン皆生大会

期日 7月20日

(カ) 加茂川まつり

期日 8月23日

(キ) サイクルカーニバル in YODOE

期日 9月14日

(ク) 美水の郷 秋麗ウォーク

期日 9月23日

(ケ) 皆生・大山SEA TO SUMMIT

期日 10月18日・19日

(コ) 市民大茶会

期日 10月19日

エ 観光商品造成事業

(ア) 神話・観光の企画、実施

a 米子市内宿泊限定プラン「大国主の縁結び神楽」の受付業務、チラシ作製

期間:平成26年4月～平成27年3月 受付件数及び人数:47件/2, 219名

b 山陰神話ガイド特別講座:平成27年2月1日・2月15日・2月22日・3月7日・3月21日

計5回実施 ガイド登録者:8名

(イ) 産業施設見学ツアーの企画、旅行会社とタイアップの上、ツアー実施

後藤総合車両所見学ツアー

期日:平成26年4月25日、7月12日、8月2日、8月23日 参加者:78名(4回合計)

(ウ) 「大人達の社会見学」実施状況

期間:平成26年4月～平成27年3月 参加者:33件/890名(前年度7件/195名)

オ 地域活性化対策事業

(ア) 米子下町観光ガイド

ガイド案内件数 126件 956人

カ 指導育成・研修事業

優良従業員の表彰

期日 5月20日

優良従業員表彰 20年勤続 9人 10年勤続 25人

キ 中海・宍道湖観光協会会議に関する事業

(米子・境港・安来・松江・出雲)

(ア) 案内所にてDBSクルーズの乗船券の申し込み受付業務

(イ) 圏域をテーマとした情報発信ツール(パンフレット等)の作成(山陰どまんなかぐるり旅。)

(ウ) 大型客船、クルーズ客船客へのおもてなし並びに観光PRの実施

大型クルーズ客船寄港時の観光案内対応及び物産展米子ブースの開設

ク 首都圏対策事業

(ア) 首都圏観光大使任命式・観光情報説明会の開催

期日 5月16日 会場:日本橋プラザビル/新規任命者3名(現在53名任命)

(イ) 米子の地酒を楽しむ会を開催

期日 5月16日 会場:日本橋プラザビル 参加者144名

(ウ) よなごのまいもん物産展の開催

期日 5月15日～16日

場所 日本橋プラザイベントスペース

(2) 観光案内業務

米子駅構内に米子市観光案内所を設置し、観光案内業務を行った。

◇年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
604件	4,859件	8,236件	1,357件	4,056件	19,112件

(3) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
23件	12,025人	11,317人	10,100,000円 (5,050,000円)

(4) 日本観光協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(5) 特産品、観光土産品振興対策

特産品パンフレット「米子ええもん噺」の作製及び配布に協力し特産品の販路拡大を図った。

(6) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(7) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

(8) 温泉地にぎわい創出事業

ア 観光宣伝事業の推進

米子市観光協会等と連携し、東海、北陸、関西、山陽、九州方面での観光宣伝事業を行うとともに、新聞紙などへのPR広告の掲載を行った。

また、皆生温泉PRチラシやイベント特集チラシなど宣伝ツールを作製するとともに、各旅館のポータルサイトの役割を担う旅館組合のホームページで皆生温泉の情報発信に努めた。

イ 高速道路を活用した誘客戦略の実施

平成25年3月の鳥取自動車道と松江自動車道に次いで、平成26年度は中国横断自動車道尾道松江線が全線開通し、既存の中国自動車道、米子自動車道、山陰自動車道との組み合わせで山陰の大周遊観光が一段と便利になった。

皆生温泉は山陰の中心に位置し、山陰観光の拠点になることから、新たな誘客の好機として、高速道路のサービスエリアでの宣伝活動や新聞広告などによるPRを実施した。

ウ まんが王国建国推進事業

平成24年度から開始したブラックライトアートを継続実施し、街歩きの拠点を創出するとともに、新たな誘客素材として活用した。

エ インバウンド、エコ・スポーツツーリズム事業の推進

山陰におけるインバウンドのゲートウェイとしての立地を最大限生かし、外国人観光客の誘客を目指した。また、平成25年度のエコツーリズム国際大会の開催で盛り上がったエコ・スポーツツーリズムの機運を受けて、受け地整備を行った。このほか、海外でのセールス活動を実施した。

(ア) 外国語ツールの作製

年々増加する外国人観光客の利便を図るため、外国語版の皆生温泉紹介パンフレット、スポーツツーリズムに対応したサイクリングマップを作製した。

(イ) エコ・スポーツツーリズムの推進

皆生ツアーデスクの閉鎖に伴い、皆生温泉のレンタサイクルの拠点を華水亭に移設。レンタサイクルの整備等を行い、ユーザーのニーズに対応した。

(ウ) 外国語サインの充実

皆生温泉を訪れる外国人観光客の利便を図るため、米子市観光センター入口に設置してある温泉案内看板の表記を日本語と英語の2か国語に切り替えた。また、バスから降りた観光客の目に触れるよう、バス待合室と観光案内所のガラス面2か所に貼付している旅館案内図も2か国語表記に改めた。

(エ) 海外セールス活動の実施

今後、インバウンドの市場開拓が見込まれる東南アジア（タイ）に向けてセールス活動を実施した。

オ 街並み活性化事業の推進

皆生温泉の活性化策として、前年度に引き続き、既存の土産物店の「皆生横丁きないや」をはじめ、文化施設の「素鳳ふるさと館」、「手しごとギャラリーKaike」、足湯施設の「潮風の足湯」、「花風の足湯」等の散策スポットを活用し、街歩きが楽しめる温泉街の創出を推進した。

また、新たな街歩きスポットとして“皆生きる”と書く「皆生温泉神社」の充実を図るため、「絵馬掛所」を設置した。このほか、皆生温泉の名物を作るため、オリジナル土産物の試作開発を行った。

カ にぎわいイベントの実施

(ア) 夏休みちびっこ広場の実施

平成24年度から名称を「鬼太郎ちびっこ広場」から「皆生温泉夏休みちびっこ広場」に変更して実施。夏休みの子ども向けのイベントとしてファミリー層の集客を図った。

(イ) 素鳳ふるさと館開館記念イベントの実施

「素鳳ふるさと館」が平成26年で開館10周年を迎え、記念事業として、市民や観光客を対象としたイベントを実施した。

(9) 広域観光の推進

ア 国立公園「大山」を望む7の市町村及び鳥取県西部総合事務所で「大山山麓観光推進協議会」を設置し、広域的な観光振興策を推進するため、大山山麓エリアにおける優良な周遊滞在型観光地の形成を図ることを目的に、官民連携して各種事業を実施した。

構成自治体 米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、鳥取県西部総合事務所、日野町（オブザーバー参加）、日南町（オブザーバー参加）

実施事業

- ・「大山王国」・「大山ワンダー」ウェブサイトでの情報発信活動
- ・大山・中海エコツーリズム協議会への参画
- ・エコツーリズムガイド講座
- ・エコツーリズム全体構想勉強会
- ・二次交通を利用したサイクリングツアー事業
- ・観光素材磨き上げ支援事業（モニターツアー）
- ・26年4月「山陰遊悠絵図」発行
- ・鳥取県西部地域観光宣伝事業（情報発信事業）

※ 平成26年度から鳥取県西部総合事務所が加入するとともに、事務局を米子市から鳥取県西部総合事務所へ移管した。

イ 「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」

中海・宍道湖・大山圏域の観光振興を推進するため、鳥取県と島根県の行政、経済団体、観光協会及びNPO等が連携、協働して圏域全体の事業を実施した。

平成17年から、圏域の行政、経済団体、観光協会、NPO法人及び民間企業などが県境を越えた連携の必要性を認識して専門分野における委員会形式で実施してきたが、より効率的に運営するため平成23年度から事業形態を委員会の運営からグループワーキングによる運営に変更し、それぞれの会員の意見が反映される組織に移行した。

(ア) 圏域観光MAPの作成・配付、既存の情報の集約・統一化のための圏域観光ポータルサイトの運営

(イ) 着地型旅行商品パンフレット「またタビ山陰」を活用した販促活動の実施

(ウ) 観光ルートの設定及び体験型観光メニューの発掘

ウ 大山・中海圏域のエコツーリズム、スポーツツーリズムの推進

当地域の持ち味を生かした「新たな観光魅力づくり」と、環境保全と経済活動を両立させた「持続可能な観光地づくり」を実現するため、平成19年から取り組んでいる「エコツーリズム」について、「ブナの森の古道散策」や「皆生海岸海上散策カヤック」等のツアー案内や受付を皆生温泉と大山寺のツアーデスクにて継続して行ったほか、全日本トライアスロン皆生大会や皆生・大山SEA TO SUMMITなどのスポーツツーリズムに取り組み、誘客を図った。また、ANAセールス、モンベル、鳥取県の提携によるスポーツツーリズムによる誘客事業「JAPAN ECO TRACK（ジャパンエコトラック）」の第1号認定ルート、シートゥーサミットルートの策定へ協力した。

(10) 第41回米子がいな祭の開催

「がいな太鼓」、「がいな万灯」、「やんちゃYOSAKOI」、大花火大会等のイベントを開催し、地域振興を推進するとともに、観光イベントとして市内外からの誘客を図った。

期日 8月2日・3日 人出 191,000人

(11) 「米子がいな太鼓40周年記念コンサート鼓動心響」の開催

米子がいな太鼓保存会創設40周年を記念してコンサートを開催し、広く市民に対して、郷土芸能としての「がいな太鼓」を鑑賞していただいた。

期日 10月25日(土) 入場者数 1,150人

(12) 皆生・大山SEA TO SUMMITの開催

シーカヤック、自転車、登山の3種目で海岸から山頂を目指す自然体感型イベントを、モンベル社、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村によって、皆生海岸～大山山頂をフィールドにして第6回大会を開催した。

期日 10月18日・19日 参加者 139組 283人

(13) 米子ソウル国際定期便の利用促進

「国際定期航路利用促進委員会」を通じ、同路線の利用促進活動を行った。

(14) 地域コンテンツ情報発信事業

「まんが王国とっとり」の取り組みを推進し、ポップカルチャーイベントの開催を支援したほか、マンガ・アニメなどを活用して地域振興に取り組む団体、事業者等と相互に連携し、本市で開催されるイベントを集約させたイベント「ヨナゴワンダー！」を設定して、本市への誘客と賑わい創出を図った。

ヨナゴワンダー！総来場者数 20,000人

(15) 連続チャーター便へのおもてなし対応

香港の訪日旅行最大手である香港EGLツアーズによる米子鬼太郎空港及び香港国際空港間での大規模連続チャーター便の運航が実施され、米子鬼太郎空港での歓迎対応を行った。

7月12日から8月23日までの間の18往復

ツアー来客者数：2,306人

3月14日から4月11日までの間の8往復

ツアー来客者数：924人

(16) 旅行商談会の実施

中海・宍道湖・大山圏域市長会との連携により、台湾から旅行業者7社を招へいし、皆生温泉で旅行商談会を実施した。

(17) 「吉本地域発信型映画」事業

ア 地域発信型映画の制作

・吉本興業とタイアップし、米子市地域発信型映画「じしゅう米子」を制作し地域の活性化を図った。

撮影期間：平成26年12月20日～25日

イ 「じしゅう米子」が上映される沖縄国際映画祭への参加及び旅行会社、マスメディアを訪問

旅行会社、マスメディア訪問 期日：平成27年3月26日～27日

訪問先：沖縄ツーリスト、HIS、JTB、阪急交通社、リウボウ旅行サービス、沖縄観光コンベンションビューロー、琉球新報、沖縄タイムス、沖縄ケーブルネットワーク

※次年度に向けて同映画の地元での上映会を計画中。

(18) 米子市ロゴマーク・イメージキャラクターの活用

5月より、ロゴマーク・イメージキャラクターに関することについて、企画課より観光課へ所管替えがあった。

ア イベント等への派遣

ヨネギーズの着ぐるみを各種イベントに79回貸し出した。

イ 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺・名札に活用されているほか、チョイモビのモチーフ、独自に開発したイラストを日本交通の時刻表などに合計39回活用された。

ウ その他の活用

(ア) ヨネギーズが市内の観光スポットを紹介する漫画「ヨネギーズ物語」の9話、10話を作成し、当初の予定通り完結させた。また、本庁市民課ホールにて全話を一同に閲覧できる「ヨネギーズ物語展」を開催した。

開催期間：平成26年10月1日～15日

(イ) 米子市・淀江合併10周年を記念するヨネギーズマグカップを作成した。

(ウ) 11月より(株)中広と連携し、同社発行のフリーペーパー「こはく」に、「ヨネギーズの月刊よなごプラス」と題したスペースを設け、ヨネギーズのPRを兼ねた本市からの情報発信を毎月実施した。

(19) プロ野球公式戦開催への支援

5月13日から14日までの2日間にわたり、どらドラパーク米子市民球場において、4年ぶりに開催されたプロ野球セ・リーグ公式戦「広島東洋カープ対阪神タイガース」に対し、開催支援を行った。

入場者数 13日：14,347人 14日：13,045人

2 観光資源の開発

(1) 観光施設の整備及び管理

ア 米子市観光センターの管理運営業務

(ア) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月15日から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

[年間利用状況(テナント、広告看板、バス停利用を除く)]

区分	観光案内	多目的ホール	会議室	料理 研修室	和室	第1展示 ホール	第2展示 ホール	第3展示 ホール	部屋利用 合計
件数	14,942件	389件	770件	18件	71件	0件	365件	365件	1,978件
人員	45,570人	10,780人	7,640人	230人	940人	0人	8,970人	1,370人	29,930人

(イ) 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合

指定管理委託料 2,582,000円

計器収納箱取替修繕工事 241,920円

2階建具修繕工事 216,000円

イ 米子コンベンションセンター管理運営業務

(ア) 米子コンベンションセンター(米子国際会議場を含む)を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(イ) 米子国際会議場指定管理委託先 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

指定管理委託料 57,809,374円

[米子国際会議場利用状況]

催し 物件数	集 会			展 示 会	音楽・芸能	その他	計
	大会 式典	講演会 説明会	会 議	展示会 見本市			
	10	48	4	8	5	24	99

利用日数 172日 稼働率 59.9%

ウ 国際会議場映像・音響設備デジタル化事業

米子コンベンションセンター内の国際会議場の音響設備をデジタル対応機器へ更新し、コンベンション機能の強化充実を図った。

改修事業費 46,594,440円